



## 能登半島地震の被災地へ ～生徒会が募金活動～

本校は1月26日に石川県立小松明峰高等学校と交流会をすることになっていました。当日は、「探究」授業の成果発表会として、13名の生徒が来校の予定でした。そんな中、1月1日に能登半島地震が起こり、交流事業は中止となりましたが、被災地の力になりたいという生徒たちの意見があり、生徒会が中心となって募金活動を行いました。生徒会では今後も石川県の力になるような活動を模索したいと話合っています。



## 東日本大震災メモリアル day2023in 多賀城高校 「探究」の成果を、多賀城 & 全国の高校生に披露しました！

1月19日・20日の日程で、「東日本大震災メモリアル day2023」が宮城県多賀城高等学校で開催されました。

この大会は、「東日本大震災の経験と教訓を全国各地・後世に継承し全国の高校生が自分の地元地域の防災・減災に関する問題や課題を焦点化し、自分事とするきっかけを作る」事を目的として開催されたものです。本校は

昨年引き続き大阪代表として参加してきました。メンバーは、2年生の「探究」の授業で「防災」をテーマにしたグループの中から選出されました。参加生徒3名は、全国の高校生との交流によって多くのことを学びました。討論や意見発表等、大会をとおして得た学びを、今後も学校や地域に還元したいと意気込んでいます。



### 本校教員を大阪府教委が派遣 熊本県の防災教育視察

本校社会科の北岡直樹教諭が11月16日、大阪府教委の防災派遣事業で熊本

本県に派遣され、「防災・減災」教育を視察しました。



### 福島県の災害復興を学びました

2月5日、1年生は福島県で被災された方から、震災復興の取組を学びました。講師の新妻良平氏は、東電第一原発事故で避難を余儀なくされた双葉郡広野町で農業を営んでいます。生徒は震災後のご苦労や現地復興の現状を学びました。



## 北方領土を全身で体感！ ～北方領土隣接地訪問学習～



今年度の「北方領土隣接地訪問学習」は11月6～8日に行われました。公募で選ばれた3人の生徒が、北海道・道東地域を訪れ、北方領土について学びました。根室市の石垣市長様のお話からは、地元で市民の皆さんの北方領土への熱い思いを伺うことができました。元島民の方からは、ロシアの都合によって墓参などの取り決めが一方的に中断されるなど、国際情勢に振り回される現状を聞かせてもらいました。今回は、北方領土問題に取り組んでいる根室高校の生徒さんと交流を図ることができ、今後につながる大きな収穫になったことと思われます。参加生徒によって、今後は、在校生や近隣中学校・地域団体等に報告することになっています。